

有価証券報告書のテキストマイニングによる 株式のリスクファクター分析

佐藤 隆清
池田 直史
井上 光太郎 CMA

目次

- | | |
|---------|-------|
| 1. はじめに | 4. 仮説 |
| 2. 先行研究 | 5. 分析 |
| 3. データ | 6. 結論 |

本稿では、有価証券報告書の「事業等のリスク」項目を対象に2種類の辞書を用いたテキスト分析を行い、検出したリスクに関する用語の出現確率が、株式のリスク指標と正に相関することを示した。この結果は「事業等のリスク」の記載内容が、株価に反映されるリスクと整合的であることを示すが、年度間のリスク変動に対しては有意な説明力を持たないことから、リスク構造の変化について新規の情報を提供しているとは言い難い。なお、本稿は本文と補論で構成されており、詳細を補論で述べている部分については本文中に注が付けられている。



佐藤 隆清 (さとう りゅうせい)

みずほ証券株式会社金融市場本部金融市場部勤務。2020年東京工業大学大学院経営工学系経営工学コース修士課程修了（本稿投稿時は修士課程所属）。2020年4月より現職。



池田 直史 (いけだ なおし)

日本大学法学部経営法学科准教授。2013年慶應義塾大学大学院商学研究科後期博士課程修了、博士（商学）。公益財団法人三菱経済研究所研究員（2012年10月～2013年9月）、東京工業大学助教（2013年10月～2020年3月）を経て、2020年4月より現職。著書に『IPOの理論・実証分析：過小値付けと長期パフォーマンス』（三菱経済研究所）などがある。



井上 光太郎 (いのうえ こうたろう)

東京工業大学工学院経営工学系教授。1989年東京大学卒、1997年マサチューセッツ工科大学MBA、2003年筑波大学ビジネス科学研究科博士課程修了、博士（経営学）。KPMGのM&A部門ディレクター、名古屋市立大学経済学研究科助教授、慶應義塾大学経営管理研究科准教授を経て2012年より現職。現在、日本ファイナンス学会会長。著書に『ファイナンス』（中央経済社、共著、2020年）などがある。